

CBL03 スタックケーブルの取り付け

この度は、CBL03スタックケーブルをご購入いただき、誠にありがとうございます。

CBL03スタックケーブルは、CentreCOM RH509S/513S/517Sをスタック接続する際に使用する専用スタックケーブルです。

CBL03スタックケーブルを用いて、隣り合わせとなるRH509S/513S/517S同士を本体側面の「IN PORT」と「OUT PORT」で接続します。（一方が「IN PORT」の場合は、もう一方が「OUT PORT」に、一方が「OUT PORT」の場合は、もう一方が「IN PORT」となるように接続します。）

スタックされたハブは1台のハブとして機能しますので、カスケードの設定はそのうちの1台のみ可能です。（例：3台スタックされたハブをカスケード接続する場合は、スタックされた3台のうち1台を「MDI」（カスケードON）に、残り2台は「MDI-X」（カスケードOFF）に設定します。）



スタックケーブルを接続する際は、電源をOFFにした状態で行ってください。また、ご使用の際は、スタックされたすべてのRH509S/513S/517Sに電源を入れてください。
ご使用にならないスタックポートには、スタックケーブルを接続しないようにしてください。

